



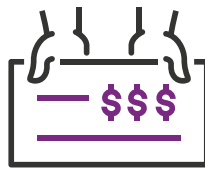
単発ボランティアの参加を促す

単発ボランティアをクラブの奉仕事業に引き込むことは、クラブにとっても地域社会にとってもウィン・ウィンです。単発ボランティアは通常、年間を通して短期的なボランティア体験に参加し、様々な組織で奉仕をし、その人にとって意義深い奉仕分野を優先します。このようなタイプのボランティアをクラブの奉仕事業に招くことは、その人の会員としてのステータスに関わらず様々なメリットをもたらします。**忘れないでください - 奉仕への参加が勧誘の主な経路です!**

メリット



ライオンズの活動についてあまり馴染みのない人に対しては、ライオンズのブランドを地域社会を具体的に改善していることと結びめます。



個人寄付の可能性を高めま。ボランティアは、直接ボランティアに関わっている組織を経済的に支援する傾向があります。



クラブの奉仕能力を高め、影響の及ぶ範囲を広げるボランティアのネットワークを拡大することができます。



行事を計画し実施するために役立つヒント

行事前

- 行事を宣伝する際には多面的アプローチを試みましょう。EventBriteなどオンラインのボランティア投稿サイトやソーシャルメディア・サイトを活用したり、印刷したポスターを学校、図書館、食料品店に掲示したり、地域のパートナーや地元の大学の奉仕サークルに声をかけましょう。
- 遅くとも事業実施日の6週間前までには奉仕イベントの宣伝を開始しましょう。
- クラブの奉仕事業に対する地域の認知度を高めるために役立つヒントを確認してください。
- 遅くとも行事の1週間前までには事業の詳細が全て共有されているようにしましょう。それと別に、事業実施日の24～48時間前には最後の確認のお知らせが送られているべきです。
- 資料やツール、作業は常に必要な分より多めに準備しましょう。作業のないボランティアは不満を感じます。
- 各作業グループを管理するライオンを割り当て、ボランティアが作業の指示について質問しやすいようにしましょう。作業リーダーに割り当てられたライオンズはライオンズブランドのシャツやベストを着用して見つけやすくしましょう。
- 行事の当日には、ライオンズのベストなどの良く目立つライオンズブランドの衣服を着用するよう全ライオンズに奨励しましょう。ベストはブランドが良く見えるので最適です。また、ソーシャルメディアで写真を共有する時に最も分かりやすいでしょう。

行事の間

- 早く到着するボランティアがいるかもしれませんが。遅くとも宣伝された到着時間の30分前までには全てが整っており準備万端の状態にしておきましょう。

行事の間

- 第一印象が肝心です!各ボランティアに自己紹介をして温かく迎え入れましょう。参加に対し感謝を伝えましょう。ボランティアの中にはライオンと直接顔を合わせるのが初めてという人もいます。
- ボランティアのために使い捨ての名札シールとマーカーを準備し、人脈作りを奨励しましょう。
- 歓迎し、挨拶をし、参加しているボランティアのことを良く知るよう、何人かのライオンズに歩き回ってもらいましょう。どのような問題が重要だと思っているのか?現在どこでボランティアをしているのか?このような繋がりはいずれ長期的な関係を構築し、記憶に残る、前向きな印象を残します。
- 事業の前に時間を取ってボランティアを歓迎し、クラブや地域社会で定期的に行っている奉仕事業の種類について簡潔に説明しましょう。
- 最後に全員を集め、参加に対し感謝を伝えると共に彼らのもたらすインパクトを称えましょう。その際には以下を含めましょう。
 - インパクトを数値化します。「今日は1000個のお弁当を準備しました」など、成果や達成を共有しましょう。数字はストーリーを伝えるので、社会に対する具体的な成果を知ることで参加者は意義深い貢献をしたと感ずることが出来ます。
 - もし次のクラブの奉仕事業が既に分かっている場合は、詳細を伝えましょう。

行事の後

- ボランティアに感謝のEメールを送りましょう。
- 次の奉仕事業のお知らせと、登録の招待を送りましょう。
- Lion Portalで奉仕を報告しましょう。

単発ボランティアに関するよくある誤解



誤解:私のクラブでの奉仕事業ではライオンズ会員だけがライオンズ・インターナショナルの賠償責任保険によって補償される。

事実:全てのボランティアが、ライオンズの事業従事中に発生した賠償責任に対する追加被保険者となります。ライオンズ・インターナショナルの賠償責任保険についての詳細は<https://www.lionsclubs.org/ja/reources-for-members/resource-center/insurance>をご覧ください。



誤解:私たちの奉仕事業は、訓練を受けていないボランティアには専門的すぎる。

事実:一般の人がボランティアに参加するには適さない奉仕事業もあります。しかし、複数の役割を伴う簡単ですぐに実行できる事業や大規模な奉仕イベントは一般市民のボランティアにも参加してもらうことができます。



誤解:非ライオンズに参加してもらうことは時間と労力の無駄使いである。

事実:一般ボランティアもクラブ内で重要な役割を担ってくれます。ボランティアは地域社会におけるクラブのインパクトに対する認識を高め、より大きな奉仕のインパクトのための人手を提供し、実地参加型の奉仕事業に参加すればクラブを経済的に支援する可能性が高まります。専門的なスキルセットを持ったボランティアが見つかることによって、クラブが奉仕で提供できることが拡大されたり、他の組織では満たされていない地域のニーズに気づくかもしれません。



誤解:会費を支払う会員としてではなくクラブの奉仕事業に誰でも参加できると、主要な会員がいなくなってしまう。

事実:ライオンズクラブに入会する理由は様々です。ライオンズクラブの会員であることは、単発の奉仕イベントを超えるものです。なぜなら、ほとんどの会員が交流、関係構築、そして地元の地域社会におけるニーズに対応するという長期にわたる決意を優先しているからです。行事だけに参加するボランティアとクラブ会員であるメリットの間には明確な違いがあります。



単発ボランティアを引き込むことに関するご質問は、
serviceactivities@lionsclubs.org
までお問い合わせください。